



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN
 PHONE (06)344-1717

JANUARY. 1986 IV-7



Y's Men
 International
 Convention
 Aarhus 1986

1985-1986 THEME

- 「Service with Enthusiasm」 — 熱誠もて奉仕を — IP
- 「How Young are You ?」 — 若がるるワイズ、湧きおこる Y魂 — RD
- 「積極的な行動でワイズの輪を広げよう」 DG
- 「着こなそう ふだん着のワイズダム」 P

Thought for the Month

And he answered, "You shall love the Lord your God with all your heart, and with all your soul, and with all your strength, and with all your mind; and your neighbour as yourself." And he said to him, "You have answered right; do this, and you will live."
 LUKE 10; 27, 28.

彼は答えて言った、「心をつくし、精神をつくし、力をつくし、思いをつくして、主なるあなたの神を愛せよ」。また、「自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ」とあります。彼に言われた、「あなたの答は正しい。そのとおりに行いなさい。そうすれば、いのちが得られる」。 (ルカによる福音書第10章27、28節)



A Merry Xmas and A Happy New Year The Y's men's Club of OSAKA CENTENNIAL Dec. '85

われらの 足もとに
 咲く花に、
 新鮮に 美わしく
 やわらかなる草に、
 鳥の うたごえに
 蜂の羽音に、
 われらの 見聞きする
 すべて 美わしきものに、
 天なる父よ、われらおん身に感謝す。

母の愛に また
 父の心づかいに、
 すこやかなる 兄弟
 美わしき 姉妹に、
 家にまた ここにての
 日々の 愛情に、
 われらを 迷わしめざる
 みちびきの ために、
 天なる父よ、われらおん身に感謝す。

光もたらす
 新しき 朝に、
 夜の 休らいに
 臥す ところに、
 健康と食物の ために
 愛と友に、
 おん身親切もて 贈りたまう
 物すべてに
 天なる父よ、われらおん身に感謝す。
 (エマソン「われらおん身に感謝す」)

今月の聖句によせて

ここに掲げた聖句は、法律学者がイエスを試みようとして、英遠の生命を受けるために何をなすべきかと質問したときの問答の一部であります。

ここで法律学者は自分の立場を弁護しようとして隣人とは誰のことかと問い、まず愛を行うべきであるとするよりも愛の対象について理論的なものが先になり自己中心的な感情に走っております。この話の後で隣

人への愛を勇敢に行動したよきサマリア人の譬が語られ、私達に対し身近かにこの重大な教訓をイエスは示しておられます。

新しい年の初めに当り、この物語を覚えつつ、この聖句にある二つのいましめを柱として上より与えられた使命を謙虚に実行していくことが出来るよう祈りたいものであります。(福永嘉彦)

「人気と実行力のセンテニアル」を夢見て

会長 山田孝彦

新年おめでとうございます。

ワイズの暦では、年度後半へのスタートです。今までに私達は香港のボヒニア(BOUHINIA)ワイズメンズクラブとIBC締結を決め、3月には香港を訪問して調印出来る予定です。さらに、インドのエルナクラム(ERNAKULAM)ワイズメンズクラブからもIBC締結の申出があり、これをお受けすることが11月例会で承認されました。すでに2回の訪問など交流を深めているハワイ・ヌアヌ(NUUANU)クラブに加えて3つの国際的兄弟クラブを持つことになりました。チャーター後4年目の短期間に、こんなに海外の友を多くもてることは誠に嬉しいことです。これはセンテニアルが鈴木PIPや谷川ICMをメンバーに擁していること、また特に国際・社会奉仕センターの活動に協力することを目的として掲げていることが評価されてのことと言えるでしょう。

これらの兄弟クラブの奉仕活動の実際については12月

号に紹介されていますが、「果たして私達の現実はどうだろうか。」今年はこのことをメンバーの皆さんとじっくり考え取組みたいと考えています。

わがクラブの雰囲気については、「ファミリーのように打ちとけて、お互いが自由に物を言合っており、心地好いクラブだ。」と他クラブのゲストから評価を得ています。もしそうなれば、外に向かって積極的に活動するパワーは十分に蓄えられたと思うのです。

勿論、今までにもそれなりに奉仕活動をしてきました。ただいつも「うちのクラブの特殊性：資金不足」などやりにくい問題が出て計画が小さくなってしまいます。今年はどうか「やれない理由」は言わないで「やるための方策」を考える為に、各事業委員の皆さんのお知恵を拝借したいものです。「人気あっても実力なし」はアイドル・タレントにまかせ、わがセンテニアルは「人気と実行力」を今年の目標にして楽しくやりましょう。

PROGRAM

1月例会

DATE: 1月22日(木) 18:30~20:30

PLACE: 大阪YMCA会館9階集會室

開会15分前 MET歌唱指導 正司 姉

- | | | |
|---------------|-------|----------|
| | 司会 | 浦野 君 |
| 1. 開 会 | | 山田会長 |
| 2. ワイズ・ソング | | 一 同 |
| 3. 聖句朗読 | | 松添 君 |
| 4. ゲスト紹介 | | 山田会長 |
| 5. 食前感謝「日々の糧」 | | 一 同 |
| 6. 晩 さん | | 一 同 |
| 7. スピーチ | スピーカー | |
| 「若き日の思い出」 | | 多田 姉 |
| 8. 3分間スピーチ | | |
| 9. 誕生日お祝 | | |
| 10. ニコニコアワー | | |
| 11. 役員会委員会報告 | | YMCAニュース |
| 12. 閉 会 | | |

例会当番 浦野、黒田、村田、松添、皆本
(会場準備のため、開会の30分前にはお集まり下さい)

第2例会

DATE: 1月29日(木) 18:30~20:30

PLACE: YMCA国際社会・社会奉仕センター

YMCA TODAY

世界の国、文化シリーズ
今年はじめは「台湾」です

恒例の「世界の国、文化シリーズ」は1月17日(木)午後6時30分より、大阪YMCA国際文化センター(9階)で開かれます。好評をばくしています。このシリーズは、音楽や映画、そして楽しいお話と食事を味わいつつ交流を深めます。ぜひご参加ください。

国際理解公開講座は1月31日(金)

帝塚山学院大学の国際理解教育研究所と共催で実施します。国際理解公開講座は外務省文化交流部文化第二課長の神長善次氏を迎え「外国からみた日本語教育」をテーマに講演会を開きます。午後6時30分開演、場所は大阪YMCA会館10階チャペルです。

Statistics (統計)

12月例会出席状況 (在籍会員35名)		ニコニコ 献 金	B F ポイント	ファンド 12月末累計
メ ン	18名	合同例会につき 省 略		152,653円
出席率	51%			
メネット	8名	累計 95,470円		累計 切手 13,341.7p 現金 3,461p
コメント	3名			
ウィンター& ゲスト	4名			
計	31名			

Y'S MENETTES & Y'S LINGS (メネットとコメット)

新年によせて

センチニアルメネット会長 田中豊子

あけましておめでとうございます。

昨年夏、山田メネット会長が健康を害されたため、急遽メネット会長をお引き受けいたしました。ワイズの事など何もわからないまま、お受けいたしました。先輩メネット会長の御助言やメネットの皆様の御協力を得て極力務めたいと思っております。

今迄にも何回か例会に出席し、又メネットの集いにも、出させていたゞき感じますことはメネットの出席者が限られていることです。それぞれに御都合があり無理な事なのですが、私自身の反省としてワイズへの理解が足りないことを思います。少しでも理解するために、月一回

の例会にメンと共に出来るだけ出席したいと願っています。子供の事、家事と、メネットの仕事は繁雑で、夜間外出するとなると朝から大変です。でも各方面の方の有意義なお話や、他のメンバーのお話を聞くことはとても楽しいものです。日常の主婦のおつきあいは子供、女性グループに範囲が限られますので、どうしても視野が狭くなりがちです。広い視野をもつために又ワイズへの理解を深めるためにも極力主人と共に例会への出席、プログラムへの参加をしたいと思っております。

今年もどうぞ宜しくお願いいたしますと共に皆様の一層の御協力をおねがいたします。

J. TANAKA SPEAKS :

キリスト教精神強調の意味するもの

田中穰二

YMCAのサービスクラブであるワイズメンズクラブはYMCAがキリスト教精神に基づく団体である限り、キリスト教理解が必要となることは申すまでもありませんが、ワイズメンズクラブ会員はクリスチャンばかりではないので、キリスト教強調は幅広く考えることが必要となります。しかしクラブにクリスチャンが一人もない場合、果してワイズメンズクラブと呼べるか如何は論議のわかる所です。世の中に奉仕クラブは沢山あり、それぞれ特色をしていますが、ワイズを支えるワイズスピリットの根源はクリスチャンヒューマニズムでありますから、キリスト教基盤がしっかりしていないと、ワイズの特色を失うことになります。従ってクリスチャンでないメンバーもワイズのメンバーである限り、少くともイエス・キリストの教えを認め、現実の問題を通して、キリスト教の愛を実践するものでなければなりません。

ワイズのクリスチャン・ヒューマニズムとは他者への思いやりだと表現してもよいでしょう。日本に優という言葉がありますが、これは「優れている」という価値観を示す言葉であると共に、私達はそれをやさしいと訓読みすることも出来ます。そしてこの字はにんべんに憂いと書いて人のいたみへの共感度を示すもので、このやさしさは古来私達日本人がもっとも尊い価値とみなして来たもので、そのままクリスチャンヒューマニズムにつながると考えればワイズスピリットの理解もわかりやすいのではないかと思います。

ます。従ってその心を持ち他者への思いやりを実践する所にワイズの精神が具体的に生かされることとなります。世界のワイズメンが毎年行っている、タイム・オブ・ファーストはそれにふさわしいプロジェクトだと云えますし、このプロジェクトのために熱心に奉仕することにより、ワイズのキリスト教精神の強調がますます強められるといえます。

HAPPY BIRTHDAY

1月の誕生石は garnet (ざくろ石) であり、constancy (志操堅固) を象徴し、赤・茶・みどり・黄があって美しい。

中村 幸枝メネット	1・1
福永 嘉彦君	1・9 (1926)
松添 玲子メネット	1・21
松本 常晃君	1・6 (1954)
松本有公子メネット	1・15



この月を象徴する花は snow-drop (まつゆきそう) である。ヨーロッパから西アジア地域の原産で森や野に自生する。小さな球根に出る茎に雪のような白い鈴形の花をつける。



CENTENNIAL EYE

WASHINGTON PLACE

— ハワイの一日 —

谷川 寛

ハワイ・ヒロの国際議会のあと立寄ったホノルルで、長年の友人、C・ツカヤマさん夫妻（ウインワード・ワイズメン）にお世話になった。ホームステイの翌日は、御主人コンラッドの属する「CLUB 100」のREUNION（再会親睦会）の日であることがわかった。この「CLUB 100」とは、第二次大戦中、あの「442部隊」と同じく、名声を馳せた日系二世からなる「第100連隊」のVETERAN（退役在郷軍人）の会のことだそう。

「CLUB 100」というと、銀座のクラブか、バーみたいでしょう、とツカヤマさんは笑った。この部隊に所属した日系二世のVETERANの人々が、一年に一度ハワイの全島から集まるそうで、今年はホノルルで集まることになっている。ツカヤマさんは、そのホスト役に忙しい。それなのに私たち二人をホームステイしてくれた。私たちが大変恐縮していると、奥さんのヨシさんが、「あなたたちも一緒に WASHINGTON PLACE に行きましょう」と急がせた。この WASHINGTON PLACE とは、ハワイ州知事 GEORGE ARIYOSHI 氏の知事公邸をいう。名前からして WHITE HOUSE のような大きな官邸を想像していた。

ホノルルの官庁街、あのイオラニ宮殿の近くに、その一角だけ木々に囲まれた白亜の小じんまりした公邸があった。私たちが着いたら日系のベテランの人々が30人程度夫妻で三三五五集まって来た。警官の案内で、私たちも彼らに混じってゲートを潜った。

日本のパール・ハーバー攻撃から、太平洋戦争に突入。ハワイの日系二世は、米国に忠誠を誓って、米国の軍隊に志願した。ヨーロッパ戦線で大変大きな武勲を立てた。みんな勇猛果敢な将兵だった。そのため、442部隊と同じく、第100連隊も大変な数の戦死者を出した。

あの「GO FOR BROKE」（当って砕ける）の合言葉で知られた「二世部隊」には、凱旋のあと、時のトルーマン大統領が、自らメダルを授けた。

今日、WASHINGTON PLACE に集まった人々は、みんな柔和なまなざしの老人たちである。この人々からは、かってヨーロッパ戦線で戦ったあの勇士の姿を想像するのは難しい。このベテランの中に、みんなが GENERAL と呼んでいる人がおられた。日系部隊からたゞ一人の GENERAL だと聞く。品の良い白髪の日系の奥さんと一緒だ。この GENERAL の案内で、みんな知事公邸の中に入った。

白亜の公邸は思ったより小さく、華美なところがない。かつては、ハワイ王朝が使用した建物である。二階は GEORGE ARIYOSHI 知事の RESIDENCE で、一階が迎賓館になっている。MRS. ARIYOSHI が案内役を務めるはずであったが、前日にメインランド（米本土）から帰

ったばかりで、大変お疲れとのことで、代りの人が案内してくれた。

レーガン大統領の写真をはじめ、各国の元首の写真、そして、数々の贈りものが飾られていた。日本の皇太子や中曾根総理が訪問した時の写真もあった。旧ハワイ王国の王族の陳列品も見て回った。日系のベテランの人々も話が弾んでいた。

あの太平洋戦争の悲劇をくぐり抜けて、現在のハワイの日系人は約22万人。ハワイの人口の四分の一に当る。彼ら22万人の礎となったのが、今日集まっている日系ベテランの人々である。この中から、現在の GEORGE ARIYOSHI 知事をはじめ、DANIEL INOYUE, SPARK MATSUNAGA などの上院議員が生まれた。私たち二人を世話してくれたコンラッド・ツカヤマ氏も、「イタリアの海岸に敵前上陸したその日に、ドイツの地雷にやられ、野戦病院にかつぎこまれた」と今は笑いながら話し、「遠い昔の話ですよ」とつけ加えられた。あれから40年である。今は平和なハワイ。そのハワイ知事公邸で、全員記念写真を撮り、散会した。

C・ツカヤマ夫妻のおかげで、多くを学ぶことの出来たすばらしい一日だった。

ALOHA

Bulletin Board

M みんなで
E イーうた
T たのしくうたおう！

- 11月例会は開会15分前のMETプログラムに何と20名以上が参加、正司先生のダイナミックな指導により、フォスターの懐かしい名歌「いとしのジュニー」を楽しく合唱、初回からなかなか熱がはりました。お陰で例会がピッタリ定刻にスタートでき、おまけにそのまゝのムードで例会も大変盛り上がった感じです。
- 1月から引続き実施しますので、どうぞお忘れなく例会15分前にご参集下さい。乞うご期待！

MET事業委員会より

	1985	1986	役員 (Officers)	
会長	山田 孝彦	会計監査	上月 英子	
副会長	森 庄司	担当主事	田中 穰二	
"	藤井 保男	幹事	杉本 恭之助	
書記	藤本 史郎	"	中村 隆幸	
"	松本 常晃	"	山中 秀男	
会計	浦野 啓一	直前会長	中村 隆幸	

EDITOR'S NOTE WA I ZU MAN 和井寿 満のひとりごと

- 新年早々お手許へ届くよう昨年暮も早めに編集をした。従って若干記事の割愛もやむをえなかった。
- 1月例会にはお年玉つき年賀ハガキの持参も切手同様お忘れなく。

(ブリテン 村田貞夫 TEL 659 芦屋市朝日ヶ丘町3-8-305)
担当 TEL 0797-32-9204